

4. 寄稿：みんなでつくるオンラインテレビ局を、みんなで作っています！！

(NPO 東京いのちのポータルサイト副理事長、(俳句) ARCセッション主宰・藤村望洋)

「みらくル TV」。みら(ひら仮名)クル(カタ仮名)。未来がやってくる TV とは？

三つの仕組みが連携した日本初の双方向オンラインテレビ局が、2020年4月、コロナ禍で放送を開始しました。(1)ZOOM テレビ会議システムで、(2)同時に YouTube で、全国、世界に放送しています。(3)WEB サイトで、番組表、報道記録などを公表。特に、番組のアーカイブ(配信済み動画)を見ることができて、好評です。

新型コロナ禍を収束させ、首都地震や超高齢社会など様々な課題を克服する一助とするため、つながりと担い手をさらに広げたいという思いで「みらくルTV」を開局しました。復興と防災、障がい福祉、囲碁、音楽、俳句など多彩な分野の方々が緩やかに連携し、出演者やスタッフとしてこのテレビ局を支えています。

立ち上げには NPO 法人東京いのちのポータルサイトが中心的な役割をつとめましたので、「災害からの復興と防災」が主要テーマの一つです。特に、コロナ禍における防災対策や避難所運営、障がい者などの災害弱者の問題を緊急テーマとして、中林一樹先生をはじめとする様々な専門家によって防災番組が作られています。

防災と言えば、耐震補強や家具の固定、水や食料品の備蓄、避難訓練や炊き出し、避難所運営などが主力でしたが、首都直下型や南海トラフの巨大地震に備えては、事前に如何に復興計画が立てられるか、計画に基づき事前にどれだけ準備できるかが重要な課題として浮かび上がっております。

2023年は関東大震災から100年目。この節目までに何ができるかをみんなで考える「首都防災ウィーク」は毎年9月1日前後に開催されて昨年が8回目。関東大震災で何万もの人が焼死した墨田区横網町公園の東京都慰霊堂が会場ですが、昨年9月は、東京都慰霊堂と「みらくル TV」が共同会場となり、6日間にわたって特別番組が放送されました。すべての放送は、アーカイブでご覧になれます。

「みらくルTV」の代表者木谷正道氏は、囲碁の木谷名人の息子さんで、その関係から日本棋院とも連携した様々な囲碁番組があります。中でも高次脳機能障害の患者さんとの番組では、リハビリに囲碁がいいとされています。視覚障害の小学6年生岩崎晴都君が信田成仁六段の指導でプロ棋士を目指す実況中継は毎週放送されています。晴都君が視覚障がい者として初めて日本棋院の院生(プロ棋士の卵)に採用されるというのが最新の話題です。

音楽番組では、全盲のヴァイオリン奏者・白井崇陽氏、全盲の和太鼓奏・片岡亮太氏 聴覚障害の手話ダンス・竹 DS さん、木谷正道氏がヴォーカルを担当する心の唄バンドなども人気です。中で

も全盲のシンガーソングライター&ピアニストの大石亜矢子さんの澄んだ歌声の優しさは素敵ですが、即興の作詞作曲による弾き語りは、天才としか思えない素晴らしさです。

障がい者は移動しなくても自宅から出演できるのがリモートの「みらくルTV」のいいところです。ZOOMでのリモート合奏は難しいというのが定説ですが、最近では、SyncRoomという優れ技で、見事な合奏を披露しています。昨年9月の「首都防災ウィーク」特別番組では、「世界みらくル音楽祭」を開催。東京都慰霊堂を本会場に、台湾、韓国とも結んでリモート音楽祭を世界に向けて放送しました。その後も、ZOOMによる音響システムや配信技術の講習番組も放送して、スキルアップを図っています。

今、最もお勧めは、「今、障害福祉を考える」。浅野史郎氏(元宮城県知事)コーディネートのインタビュー番組です。オンラインですから全国の地元で活動する福祉の凄腕たちが次々と登場します。登場人物はまさに驚愕の凄腕ぶりで、一般のテレビ局を含めてこんな面白い番組は見たことがないという人もいるくらいです。「1本2時間のアーカイブにはまってしまって何本も！今週は何も仕事ができない！」という人もいました。

番組「今、障害福祉を考える」の一コマ



筆者は俳句の番組を担当しています。「しりとり俳句」やクイズ形式の「穴あき俳句」で全国どこからでも誰でも参加できる「俳句入門」、現代のリモートによる新しい形を模索する「連句入門」で遊んでいます。「首都防災ウィーク」では「季語と防災」を取り上げました。地震の「穴あき俳句」の一つ。「阿波淡路活断層へ冬〇〇〇」(相原左義長)。考えてみてください。是非一度見に来てください。一緒に楽しみましょう。

「みらくルTV」ご参加は、<https://us02web.zoom.us/j/3782787584> パスコード 39 で。詳細は、「みらくルTV」を検索！どなたでも気楽なご参加をお待ちいたしております。

(穴あき俳句の答は「鯨」。鯨は夏の季語ですが、阪神淡路大震災なので「冬鯨」でした)。